# EA720YB グラスシクネスチェッカー 取扱説明書

（ドイツ）

◆ 特 長

このチェッカーは窓ガラスの厚みとガラス間の空隙を片側から素早く表示します。
空隙のある複層ガラスを分解する必要はありません。
このチェッカーは一般のガラスの厚みと空隙、２つの値を読むことができます。

⚠ 使用上の注意

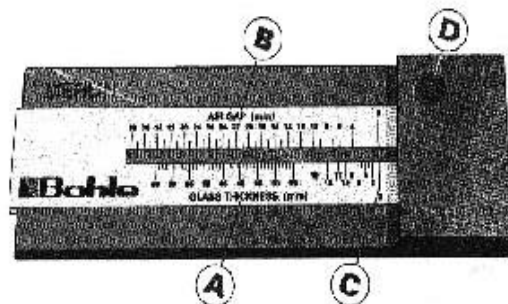
- ・極端な温度・湿度の場所に置かないでください。
- ・強い衝撃を加えないでください。
- ・磁石に近づけないでください。
- ・レーザーの電気回路の構成部分を取らないでください。
- ・レーザーを３ヶ月以上使わない時は、電池を取り外してください。
- ・直接目にレーザーを当てないでください。
- ・子供の手の届かない所に保管してください。

◆ 各部の名称・機能

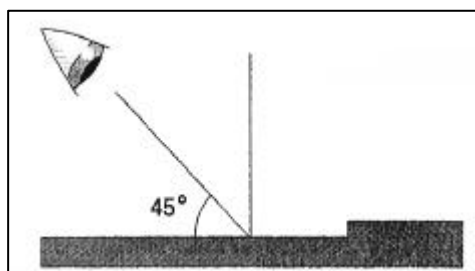
Ａスケール「ガラスの厚み測定」
- ・このスケールは空隙のあるガラス、機能ガラス、複層ガラスの一枚の厚みを表します。
- ・ラミネートガラスあるいは、樹脂入りガラス、断熱ガラス、太陽光を防ぐガラスの被膜側からも測定できます。

Ｂスケール「空隙を測定」
- ・このスケールは二重、三重ガラスの空隙を測定します。
  Ａスケールに関連して、全体の厚みが簡単に測れます。

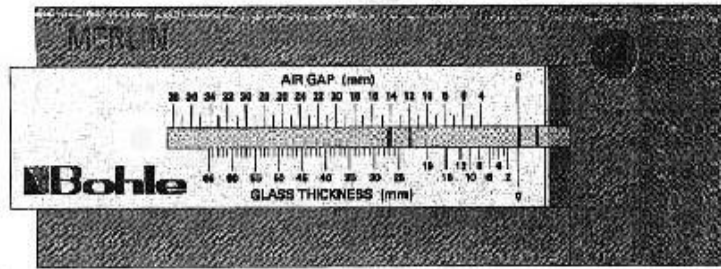
Ｃゼロライン
ゼロラインは、すべての測定の基準になります。

Ｄレーザーを出すボタン

◆ 使用方法

- ・どんなタイプのガラスを測る時でも、ガラスにぴったりとつけてください。
- ・二重あるいは三重の空隙のあるガラスを測定する時、ガラスのサイズやエアー圧力によって空隙が中央に偏向するかもしれないので、フレームの近くで測定してください。
- ・ボタンを押し、レーザーを発射させてください。
- ・目盛を鮮明に読むために約４５°の角度で見てください。（図１参照）

（図1）

◆ 測定例（2×4㎜ フロートガラス 空隙１２㎜）

- ・表面をクリーニングしたガラスの上にチェッカーを置きます。
- ・スケールを完全に右側にスライドさせます。
- ・ゼロラインは最初のレーザーラインと一直線になります。
- ・スケールＡにおいて２番目のレーザーが最初のガラスの厚み（４㎜）を示します。
- ・ゼロラインを２番目のレーザーラインの所にスライドさせます。（図２参照）
- ・次に続いているレーザーラインが上のスケールＢで空隙（１２㎜）を示します。
- ・ゼロラインを前に空隙を示したレーザーラインと一直線にするために、再度左側に滑らせます。
- ・下段のスケールＡ"GLASS THICKNESS"で２番目のガラスの厚み（４㎜）を読み取れます。
- ・ガラス全体の厚みを出すために、全ての測定値を足してください。

(図2)

◆ 様々なガラスの測定

レーザーラインの量や強さはガラスの構成を示します。

・1枚ガラス…… 2つのレーザーラインが見えます。
・1枚ガラスでコーティング済… 一方が他方より明るく2つのレーザーラインが見えます。明るいラインがガラスの厚みを示します。
・複層ガラス(２層)… ４つのレーザーラインが見えます。
・複層ガラス(３層)… ６つのレーザーラインが見えます。
・ラミネート安全ガラス/防音ガラ

１枚中間膜(PVB)の２層タイプ… ３つのレーザーラインが見え、１つが他より弱く中間膜を示します。

複数中間膜(PVB)の２層タイプ… ４つのレーザーラインが見え、２つが他より弱く中間膜の厚みを示します。

流し込み樹脂の２層タイプ… ４つのレーザーラインが見え、２つが他より弱く樹脂の厚みを示します。

異なった厚みの中間膜の２層タイプ… それぞれのガラスによりますが、ガラス、中間膜そして樹脂の厚みを示します。

◆ メンテナンス

レーザーは、最小限のメンテナンスが必要です。

電池交換…カバープレートのネジを外し、電池を交換してください。
電池はボタン電池（SR44)を使用してください。

スライディングスケールは時々拭いてください。
柔らかく、適度に湿った布で拭くのがベストです。